

こんにちは



委員長の齊藤喜美子さん(61歳)
(写真は『はなさかじいさん』の朗読)



小松さん 大塚さん 和田さん

教えるではなく教わる 江別市読み聞かせ 赤十字奉仕団

得意分野を生かしてボランティア

「おじいさんとおばあさんは仲良く暮らしました。」老人福祉施設に、優しく明るい声が響きます。入所しているお年寄りが懐かしむ表情で見つめる先には「江別市読み聞かせ 赤十字奉仕団」委員長の齊藤喜美子さんの姿があります。

この奉仕団は、専門技術や特技を生かして活動する特殊赤十字奉仕団の一つで、老人福祉施設内での紙芝居や歌あそび、週2回の情

報図書館での子ども対象の絵本朗読などを主軸に活動中。他にも傾聴(ご高齢の方を相手に話を聞く)ボランティア、避難所運営訓練の炊き出し手伝いなど活動は多岐にわたります。現在の団員は14名で、それぞれ自分が得意とする分野に任意参加しています。

活動拡大に赤十字奉仕団へ

前身は、齊藤さんが昭和62年にはじめた「おはなし会」。自宅を家庭文庫として開放し、本の貸し出しや、近隣児童向けに朗読を行っていました。

市の依頼で当時の中央公民館図書室で朗読ボランティアを始めたのち、入院中の子どもたちへの朗読など、活動拡大の後ろ盾を求めて平成15年に赤十字奉仕団の許可を申請。朗読会の常連だったお母さんらを誘い、同団を結成しました。

新篠津村から、齊藤さんのおはなし会に通っていた和田さんは「自分もお手伝いできるなんて。」と快く仲間になりました。

いつも感謝の気持ちで

活動中は感謝の気持ちを忘れません。「し

てあげるなんてめつそうもない。一緒の時間をちようだいしています。」と謙虚に語る齊藤さん。小道具を忘れたり、歌うはずの歌詞を忘れてしまったりと失敗談は数々。しかしその場で正直に打ち明けると、歌詞のあいの手を入れて助けてもらえるなど、想像以上に楽しい時間が出来ることも多いとか。「お子さんへの朗読も、一緒に楽しい時間を共有していると感じています。」

傾聴ボランティアによく参加する大塚さんは、人生の先輩から話を聞いて「私に話してくれてありがとう。」と、いつも温かい気持ちでいっぱい。小松さんも「心が通じ合えると嬉しい。」と、活動を通じて与えるのではなく、もらえることが多いのだと2人は口を揃えます。

目に見えない力を信じて

物語に触れることは非日常を疑似体験してもらうこと。「想像力は、きつと生きる力になるから。」と齊藤さん。絵本の朗読会に来ていた子どもたちが大人になり、今では奉仕団のメンバーとして各種イベントの手伝いなどをしてくれるそうです。

優しさあふれる齊藤さんらの活動は、未来に向かって芽を出しているようです。

赤十字奉仕団の活動を応援しませんか？

日本赤十字社の活動に使用される活動資金(社資)を6月から自治会を通して募集しています。

奉仕団の活動資金ほか献血推進事業などさまざまな活動に使用されます。

ご理解とご協力をよろしくお願いたします。

【詳細】福祉課 ☎ 381-1031

墓石用特許 特殊ジェル 免震工法
地震の揺れを抑制し安心墓石

一般社団法人 日本石材産業協会 認定
お墓ディレクター5名在籍
墓石診断・相談を無料で承ります

施工保証 安心の施工保証付
当社独自基準の安心無償保証

誠にありがとうございます

創業50年
大奉仕感謝祭開催中

お墓のご相談・ご注文 ☎ 0120-38-3159

有限会社 鈴木石材工業
http://www.stone-suzuki.co.jp

◆本社・工場 TEL 382-3159
江別市高砂町25-13
◆霊園前営業所 TEL 380-1114
江別市いずみ野3-4